



第49号

令和7年
10月発行

すずか

発行

鈴鹿市農業委員会
TEL 382-9018

編集

広報研修委員会



食べごろを迎えたシャインマスカット(山本町)

主な内容

ハウス栽培のシャインマスカットの紹介

P 2

農業委員会からのお知らせ

P 3

農業委員・農地利用最適化推進委員の改選について

P 4



鈴鹿市にはシャインマスカットをハウス栽培している農家さんがいます。
そのシャインマスカットの実ははじめからの成長過程を収めました。



6月中旬

実に種が作られることなく粒を大きくするためには、ジベレリンの溶剤をつける必要があります。
この写真は、ジベレリンの処理を終えて1週間が経過したものです。実の粒はまだ小さくて細いです。



7月下旬

前回から約1か月が経過しました。粒が大きくなり丸々としてきたことがわかります。しかし、酸味が強いものが多いです。



9月上旬

それから1か月が経過すると、粒がさらに大きくなり、粒同士のすき間が狭くなりました。甘みも強くなり、収穫の時期を迎えました。
粒が大きくて種がない、甘くてみずみずしいシャインマスカットができました。

「全国農業新聞」を読みませんか

農業関連の最新情報や市場動向、農業の技術に関する記事が豊富で、
農業者にとって非常に有益な情報源です

◎発行日は毎週金曜日(月4回)

◎購読料は月額700円(令和8年4月から月額900円)

★お申し込みは農業委員会事務局まで



令和7年6月から 「農地転用を伴う太陽光発電設備の設置に関するガイドライン」 が改正されました。

今回は、重要な点を5つご紹介します。

1. 被害防除対策として、「水利の維持」も適切に行う。

これまでの雨水処理、土砂流出防止の防除に加え、**周辺の水路や用水施設がきちんと機能するよう維持する責任**が求められます。

2. 転用した後の設備についても適切な管理をする。

農地転用が完了した後も、雑草の繁茂や土の流出など、周囲の農地や住環境に悪影響を及ぼさないよう、**定期的な除草などの適切な管理に努める**ことが必要です。

3. フェンスに連絡先を掲示する。

トラブルが発生した際に、連絡先が分からないことがあるため、**連絡先を記載した標識をフェンス外周に掲示**し、所有者や事業者に変更があった場合は、**標識の内容も更新する**ことを求めています。

4. 転用完了後のトラブルに対しても、誠意のある対応をする。

周辺環境への配慮は、転用時のみではなく、**事業開始後も適切に行い**、周辺農地に被害が発生した場合は、**事業者が責任をもって対応する**よう求めています。

5. 事業者・所有者が変わった際にもガイドラインは引き継ぐ。

本ガイドラインは、転用完了後、事業を引き継いだ人に適用され、**継承者にも同じ責任**と対応が求められます。



←詳しくは
鈴鹿市ウェブサイトまで



『農業者年金』に加入しましょう

- ポイント① 農業者なら広く加入できる
- ポイント② 個人の積立方式の確定拠出型であるため、全体の加入者数の増減によって将来の受け取り額が変動することがない
- ポイント③ 保険料の額は自由に決められる
- ポイント④ 終身年金で、80歳前に亡くなられた場合は、死亡一時金がある
- ポイント⑤ 税制面の優遇措置がある
- ポイント⑥ 一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助がある



☆詳しくは農業委員会事務局又はJAまで

農業委員・農地利用最適化推進委員の改選について

現在の農業委員及び農地利用最適化推進委員は、令和8年7月19日で任期満了となります。任期満了に伴い、農業委員及び農地利用最適化推進委員候補者の募集期間を令和8年1月に設定する予定です。

詳しい募集方法・募集期間等は、令和7年12月に広報すずか及び市ウェブサイトでお知らせします。

農業委員の主な業務

- 農地の権利移動の許可及び農地転用の審査業務
- 農地利用最適化推進委員と連携した、農地利用の最適化の推進
- 農地パトロールや農家相談

農地利用最適化推進委員の主な業務

- 農地利用の最適化の推進(担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進)に関する現場活動
- 農地パトロールや農家相談



農林水産課からのお知らせ

農機具に付いた土は道路に落とさないでください

トラクターなど農機具に付いた土は、ほ場内で取り除き、道路に落とさないようにしましょう。土が道路上にあると、交通の安全や周辺の環境に影響を及ぼしてしまいます。

地域の農業者や関係者と協力し、定期的に啓発活動を行い、理解を深めていきましょう。皆様のご協力をお願いいたします。



10月は暑さに油断しがちですが、熱中症の危険がまだ残っています。健康と安全を第一に考えた作業が大切です。こまめな水分補給や休憩を心掛け、熱中症予防を忘れずに行いましょう。安全に作業を続け、実りの秋を迎えましょう。